

令和2年度事業活動報告

1. 肢体不自由児者が地域で普通に暮らすことができる環境をつくる事業

①令和2年度全国大会・ブロック大会の開催

全国大会（第36回九州ブロック大会併催） 大会は中止としたが、大会記念誌を発行
ブロック大会は6ブロック全て中止となった。

②総会、理事会、専門委員会など各種会議の開催。関係諸団体との連携

<通常総会(全国会長・事務局長会議)> 書面決議

<理事会、監事会の開催>

理事会は5月（書面決議）、10月、2月の3回開催、 <監事会> 5月15日 全肢連事務局

2. 肢体不自由児者福祉に関する社会的啓発事業

①機関誌、広報誌、指導誌等の発行

・「いずみ」153号 ・154号発行 ・「わ」140号・141号発行 ・「全肢連情報」Vol.711～Vol.734
・「療育ハンドブック」46集 重度障害児者への在宅診療の現状について発行

②インターネットによる情報の集散 ・全肢連ホームページ「響（ひびき）」の拡充

③ふれあいの輪を広げるキャンペーン ・第39回グラフィックアート・コンテストの作品募集

3. 支部父母の会育成強化に関する研修事業と助成事業

①さわやかレクリエーション

71件 内定83件(中止12件)

②地域指導者育成セミナー

全国7カ所のうち2ヶ所(東海北陸ブロック石川県、北海道)

③療育キャンプ

石川県 1泊2日 1カ所

④障害児者と家族の生活相談事業

7道府県で実施 100日 523件

⑤令和2年度フライングスター基金

「車椅子送迎用車」の贈呈先4台

北海道、山梨県、大阪府、鳥取県 贈呈

4. 肢体不自由児者と家族の生活の質を高める事業

(1) 生活の質を高める各種事業

①障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワークとの連携

・日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバルに向けた全国会議(九州地区フェスティバル参加)

(2) 各種イベント事業

①チャリティ・パーティーの開催

・2020年李富鉄税理士事務所主催クリスマスパーティ 開催中止

②FVジャパンとのコラボレーション事業

・第12回和やかレクリエーション「サンシャイン水族館」 開催中止

5. 各種アンケート調査実施について

①大災害時障害者歯科医療保健に関するアンケート

6/20発行「いずみ」153号掲載

②新型コロナウイルスによる「医療・療育器材・障害福祉サービス」の実態と影響調査

10/20発行「わ」140号掲載

③在宅での排せつ介助に関する調査

12/20発行「いずみ」154号掲載

④在宅の障害児者・家族の方々等の医療・療育・教育・生活について(国庫助成)

3/20発行「わ」141号掲載

⑤重度障害者対応共同生活援助の支援体制の在り方

(日本財団助成) 3/31発行 検討事業報告書

1. 公益社団法人移行と会計方法の変更の件

1. 全肢連は平成24年(2012年)に社団法人から一般社団法人として内閣府から認可を受け9年を経過いたしました。これまで、全国会員からの分担会費、公益財団法人・社会福祉法人等からの助成、企業等からの協賛・寄付金等で運用してまいりましたが、昨年より顧問税理士による会計監督を毎月末に受け、今後、社会的信頼を厚くするとともに、財政面の強化(個人・企業の寄付控除)を図り、税制上の優遇(公益事業で上げた収益に対する優遇措置)を受け、三種郵便の活用で通信費の軽減など障害福祉団体としての活動領域を考慮した結果、本年度公益法人の取得を目指すための事務作業を行ってまいります。
2. 会計方式も一般会計・特別会計をそれぞれ部門別に収支計算を行い、公益事業・収益事業・本部会計を明確に公益法人会計の書式に対応できる令和3年度事業計画案・予算案の提案といたしております。

2. 令和3年度事業計画(案)の件

I. 事業計画の基本方針

令和3年度も新型コロナウイルス感染症は今日に至っても終息しておりませんが、継続事業の着実な実行と新規事業の実施、障害福祉サービスに係る研修並びに調査事業の展開、全国大会やブロック大会、様々なツールを活用した情報収集と発信。助成事業の活用と関係団体や企業とのコラボレーション事業などを通じて、全肢連事業全体の強化と充実を図ってまいります。

本年度は全肢連設立以来60年の節目の年であり、全国会員の身近な課題に対応しつつ、生涯を通じ確実な安心安全生活を持続できる体制の確立を着実に進め記念誌の発行を行ってまいります。

事業計画の策定につきましては、本年度から会計方式を本部会計、特別別会計に区分することから、事業計画の提案につきまして会計方式に沿った内容となっております。

令和3年度も継続事業の着実な実行と全国の会員が共に支えあい・触れあうことを目的に新規事業(3事業)を企画するとともに、全国大会やブロック大会、研修会並びに、様々なツールを活用した情報を集約し「全肢連情報・ホームページ響」を活用し都道府県肢連及び地域父母の会に直接発信することとします。

令和3年度も公益財団法人等の助成事業の更なる活用と関係団体や企業とのコラボレーション事業などを通じて、一般社団法人として事業全体の強化と充実を図ります。

具体的には「全肢連と都道府県肢連・地域支部間の医療・療育等施策について連携強化に資する事業」、「肢体不自由児者が全国共通認識の下、地域で安心安全に暮らせる社会を創造する」、「地区父母の会育成強化と参加する人たちの絆を深め、「ふれあいの輪」を広げる助成事業」、「肢体不自由児者福祉に関わり地域指導者研修・療育キャンプ及び広報誌事業」、「肢体不自由児者の療育事業と在宅・入所時の生活に係る障害福祉サービスなどの相談事業」の5事業を重点事業に、全肢連組織内に「重度障害児者・医療的ケアを必要とする方々」の住まいの在り方について検討する部会を設置いたします。

II. 事業概要

1. 全肢連と都道府県肢連・地域支部間の医療・療育等施策について連携強化に資する事業

<一般事業>

1) 趣旨(目的)

ア. 全肢連運営に関し理事会の開催並びに各ブロックの組織強化を図るとともに、全国の会員から出された意見・要望を集約し、中央行政機関、各地域福祉行政に対し政策提言を行うとともに、適宜ホームページにて適切な障害福祉施策の対応方針など情報の発信を図るとともに、自立した組織の育成強化を目的に自動販売機の設置促進を進める。

(2) 事業(内容、方法等)

①令和3年度理事会の開催日程

◇令和3年度第1回理事会	5月22日(土)	リモート開催
◇令和3年度第2回理事会	9月17日(金)	未定
※新型コロナウイルス感染症により事業計画・予算の変更が生じた場合には補正予算を提案する。		
◇令和3年度第3回理事会	令和4年2月19日(金)(予定)	東京都内(会場未定)

②インターネットによる情報の集散

- ◇全肢連ホームページ「響(ひびき)」の拡充
 - ・全肢連ホームページ「響(ひびき)」 <http://www.zenshiren.or.jp/>
 - ・都道府県肢連ページの充実 <https://www.zenshiren.or.jp/publics/index/28/>
 - ・フェイスブックの運用 <http://www.facebook.com/ZENSHIREN>
- ◇各地域の活動に関する相互交流と啓発の場として最新情報の発信などを行う。

③コカ・コーラ社とのコラボレーション事業

各都道府県肢連、地域父母の会での自動販売機設置について。

- ・公共施設、企業等への働きかけについての説明
- ・令和3年度、全国で50台の新規設置をする(報奨金として1台新設ごとに1万円)

④アステラス製薬㈱ 2021年度フライングスター基金「車椅子送迎車用」

- ・募集期間 令和3年4月15日(木)～令和3年5月28日(金) ※原本必着
- ・寄贈車輛 4台 (普通車輛3台、軽車輛1台)

イ. 各種招待イベント事業

⑤チャリティ・パーティの開催(関東圏肢連とのコラボレーション)

李富鉄税理士事務所主催クリスマスパーティ

⑥和やかレクリエーション@サンシャイン水族館(関東圏肢連事業、FVジャパン事業)

招待事業の企画、実施についてFVジャパンと共働シボランティア、支援者の育成を図る。

⑦障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク

「日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル」による、障害者の文化芸術活動に参画するとともに、東北、関東・甲信、近畿で企画する芸術フェスティバル等の各種事業に参加。

⑧全肢連設立60周年記念事業

- ・功績のあった、個人・企業に対し感謝状を贈呈する
- ・60周年記念誌の発行

2. 肢体不自由児者が全国共通認識の下、地域で安心安全に暮らせる社会を創造する事業

(日本コカ・コーラ(株) 協賛)

< 渉外活動事業 >

(1) 趣旨(目的)

全国の会員から出された意見・要望、地域の現況把握を聴取集約するとともに、全国総会(会長・事務局長会議)で全肢連の方向性を決定するとともに、全国大会・ブロック大会で障害福祉サービス等利用での地域格差や医療・療育・支援教育の在り方を学び、「わ・全肢連情報」を幅広く発信するとともに、新規事業の推進として音楽・文化・コンテストを企画そこに参加いただくことで「地域父母の会の結束」を新たに潤いと希望に満ちた生活を送りながらともに支え合う社会をつくることを目的にする。

(2) 事業(内容、方法等)

① 令和3年度総会の開催日程

◇令和3年度通常総会(全国会長・事務局長会議) 書面議決(コロナの影響拡大)

② 令和3年度全国大会・ブロック大会の開催日程

全国大会・ブロック大会を開催する。その際、全国大会は、各ブロック持ち回りであることからマニュアル等作成するとともに、ブロック大会では遠方会員に配慮することも必要である。

◇第54回全国大会(第58回関東甲信越ブロック大会東京大会併催)

	9月18日(土)	東京都	大田区産業プラザPiO
◇第32回北海道ブロック大会	未定	旭川市	旭川市障害者福祉センター
◇第40回東北ブロック大会	中止	秋田県	
◇第58回関東甲信越ブロック大会	9月18日(土)	東京都	大田区産業プラザPiO
◇第56回東海北陸ブロック大会	中止	福井県	
◇第55回近畿ブロック研究大会	中止	大阪府	
◇第51回中国四国ブロック大会	11月13日(土)	山口県	湯本観光ホテル西京
◇第37回九州ブロック大会	10月30日(土)～31日(日)	熊本県	ホテル熊本テルサ

※新型コロナウイルス感染症対策で中止になり報告書等の作成については所定の助成を行う(上限5万円)

② 全国大会開催予定について (日定等調整中含む)

◇2022年(第55回)	東海北陸ブロック	令和4年9月10日(土)～11日(日)	愛知県	ロワジュール豊橋
◇2023年(第56回)	中国四国ブロック		岡山県	
◇2024年(第57回)	近畿ブロック			

③ 新規協賛事業について

1. ハンドアーチェリー大会(仮称) テーマ「競い合う楽しさ、仲間との絆」

a) 事業の目的

ハンドアーチェリーをレクリエーションとして楽しむだけではなく、勝ち抜き戦で競い合う楽しさを体感しながら仲間との絆を深める。また、ブロック対抗戦にすることで会の結束にもつながると考える。リモートを用いて遠方に住む会員同士でも楽しく安全に実施できる。

b) 対象者

・都道府県肢連会員 ※障害児者と親(または支援者)ペアを一組とする。

c) 実施期間

・令和3年10月～12月(予定) 決勝戦は令和4年1月実施(予定)

d) 事業内容

各県代表選手2組を選出してもらい県別トーナメント戦を行う。トーナメント戦は録画方式で行い、決勝戦はリモートで対戦する。

2. アート・フォトコンテスト（仮称） テーマ「ひとや自然にふれ感じたことをあらわそう！」

a) 事業の目的

多くの人に自分の作品をみてもらう喜びや、一つの作品を完成させることで味わう達成感。生き甲斐や楽しみを見つけるきっかけ作りと隠れた才能の発掘。

全国の特別支援学校や生活介護事業所などに作品を募集することで、全肢連を知るきっかけや活動を周知するとともに、日々の生活に生きがいをもち人生の魅力づくりの一助とする。

b) 対象者

・障害児（特別支援学校児童生徒） ・障害者（父母の会、施設、GH、事業所等）

c) 実施期間

2021年7月～9月末 発表11月（予定）

d) 事業内容

①部門：障害児（支援学校児童生徒） 障害者（父母の会、施設、GH、事業所等）

②作品：絵、書道、コンピュータ、フォト、工作等

③選考：審査委員会、HP上でのWEB投票を導入

各部門 最優秀賞1名、優秀賞2名

最優秀賞作品は全肢連の福祉自販機へポスターにして掲載（予定）入賞作品はHP、「わ」へ掲載。

3. online コンサート（仮称） テーマ「音楽とふれ合い、心はずむひととき」

a) 事業の目的

音楽やミュージカルを自宅や気の合う仲間たちと一緒に気兼ねなく楽しめるオンライン配信は、愛知県をはじめ他の県肢連でもレクリエーションに取り入れており、人気のあるイベントの一つ。

これを全肢連主催で行い、デリバリーパフォーマンスを知らない会員にも配信し、音楽と触れ合う楽しさを通じて心豊かなひとときを過ごしてもらうことを目的とする。

b) 対象者

・都道府県肢連会員

c) 開催時期

・12月初旬予定（クリスマスイベント）

d) 事業内容

・音楽、ミュージカル、ダンス等のオンライン配信。

・デリバリーパフォーマンスでお馴染みの「心魂プロジェクト」に依頼予定。

③機関誌・全肢連情報の発行

- | | | |
|--------------------|----------------|---------------|
| ・全肢連だより「わ」の発行（年2回） | 142号（10月20日発行） | 143号（2月20日発行） |
| ・全肢連情報（月2回） | 毎月1日、15日 | |

3. 地区父母の会育成強化と参加する人たちの絆を深め「ふれあいの輪」を広げる助成事業

(コカ・コーラシステム助成事業)

<さわやか事業>

(1) 趣旨(目的)

支部父母の会で実施する療育事業として地区父母の会の育成、活性化を図り、地域生活における絆を深めあい、子どもたちの成長を見守り合うことを目的とする事業として助成を行う。

(2) 事業(内容、方法等)

地域の肢体不自由児者父母の会の発展と障害者福祉の向上に寄与し、地域住民の障害者に対する理解増進、支援の輪を広げることにより、もって社会基盤の整備に貢献する事を目的に、以下の事業を展開する。

①さわやかレクリエーション事業の実施

a) 事業の目的

さわやかレクリエーション&キャンプ事業は、「ふれあいの輪を広げるキャンペーン」の一環事業として障害児者とその家族が地域住民やボランティア等と交流を深め、リフレッシュを図るとともに、父母の会の活性化に繋がる事業、障害児者の社会参加活動の一助となる事業として、日本コカ・コーラ(株)の協力により、コカ・コーラシステムから支援いただき、療育事業として助成されてきた。

b) 助成対象者

都道府県肢連(支部、地区父母の会を含む ~ 但し県肢連を通して申請)が実施する行事や事業。

c) 実施対象期間

令和3年5月~2022年1月の期間に実施すること。この期間以外は対象外とする。

d) 募集期間

令和3年3月8日(月)~ 4月16日(金) (必着)を募集期間とする。

e) 助成対象事業 『地域共生、地域連携』『レジャー活動、余暇活動』等活動支援助成

f) 助成対象内容 <<助成対象件数 75件予定>>

●対象事業となるテーマ

- ・スポーツや芸術活動への参画 等への支援事業
- ・地域住民と考える様々な災害への備え(自助・共助への取組みの推進)等への支援事業。
- ・レジャー活動、会員間の親睦、レクリエーション、外出の機会等への支援事業

g) 助成金限度額

助成金は総事業予算の75%以内かつ、7万円が助成限度額。

4. 肢体不自由児者福祉に関わり地域指導者研修・療育キャンプ及び広報誌事業

(公益財団法人 JKA 助成事業)

<研修・啓発事業>

(1) 趣旨(目的)

肢体不自由児者福祉に関して専門的な講師を招請しセミナーを開催、地域父母の会を主体に療育に関する研修事業、様々な媒体を通して公益性を高める広報事業や印刷物の出版等を行う。あわせてインターネットによる情報発信を行う。

(2) 事業(内容、方法等)

①障害児者と家族、支援者のための指導誌の発行

- ・機関紙「いずみ」(年2回) 155号(6月20日発行)、156号(12月20日発行)

◆「療育ハンドブック」事業内容

- ・テーマ:シーティングの活用で車いす使用者も正しい姿勢で褥瘡を予防し快適な生活を送ろう!
- ・著者:株式会社アクセスプランニング 山崎 泰広氏
- ・仕様:B6版 72頁
- ・発行日:令和3年11月20日
- ・発行部数:3,000部

②療育キャンプの実施

地域父母の会を対象に専門家の指導による療育キャンプへの助成を行う。

- ・日帰りバス 1カ所
- ・1泊2日 2カ所

③地域指導者育成セミナーの開催

- ・1泊2日 (7地域) 北海道、宮城県、山梨県、福井県、兵庫県、愛媛県、大分県

◆「地域指導者育成セミナー」事業内容

重度障害児者、医療的ケアを必要とする方の医療・療育に地域格差が生じている。いつでもどこでも障害福祉サービスを受けられる環境の整備と親の高齢化に伴う安心安全生活の確保（保障）が必要であり、都道府県別の実態を掌握する貴重な機会とする。また、障害者の生涯にわたる住まいの在り方として施設入所・GHについて研鑽を深めることを目的とする。

- ・テーマ：「居宅、GHで生活する障害児者の障害福祉サービスおよび住まいの向上に繋げるセミナー」
- ・講師：社会福祉法人伊達コスモス21 理事長 大垣 勲男氏（予定） 他

5. 肢体不自由児者の療育事業と在宅・入所時の生活に係る障害福祉サービスなどの相談事業

(社会福祉法人全国心身障害児福祉財団助成事業)

<相談・療育事業>

①障害児者と家族の生活相談事業

- ・療育相談事業「在宅。入所など障害児者と家族の生活相談」の実施。(助成申請中)
- ・保護者研修事業「家庭における障害児者の療育、生活援助に関する研修会」の実施
- ・療育研修事業「親子ふれあいキャンプ(研修・訓練) 1泊2日」の実施